

今日のトピック **メキシコ中銀が0.75%の利上げ FRBの大幅利上げに追随、タカ派姿勢が鮮明**

ポイント1 政策金利は7.75%に

- メキシコ銀行（中央銀行、中銀）は6月23日に金融政策決定会合を開き、政策金利を7.0%から7.75%に引き上げました。
- 中銀による利上げは今回で9会合連続ですが、利上げ幅は0.5%から0.75%に引き上げられ、米連邦準備制度理事会（FRB）と歩調を合わせた格好です。

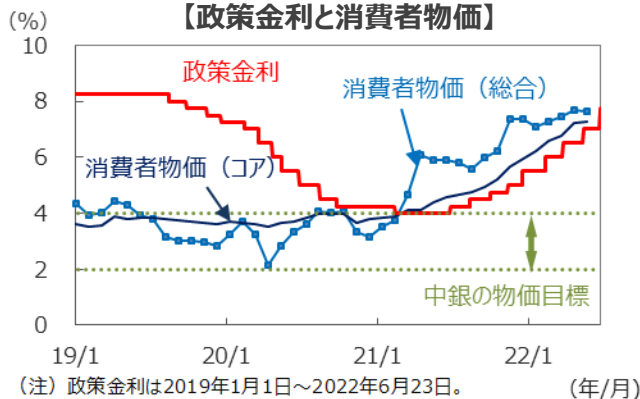
ポイント2 タカ派姿勢を鮮明にする中銀

- 5月のメキシコの消費者物価指数は前年同月比で7.65%の上昇となり、引き続き中銀の目標レンジ（上限4%）を大きく上回っています。
- インフレ高止まりや、FRBの金融引き締め姿勢の加速を受け、弊社では政策金利の見通しを引き上げました。政策金利は今回に続き、8月と9月の会合でも0.75%の利上げが実施され、9月末には9.25%まで引き上げられるものと予想しています。

今後の展開 利上げ継続でペソは堅調

- 5月の米消費者物価指数の発表と前後して米長期金利が急騰した場面では、メキシコペソがやや弱含む場面もありましたが、その後は米長期金利の上昇が一服したこともあり、ペソは底堅い推移が続いています。
- 堅調な個人消費を背景とした景気回復や積極的な金融引き締めの継続から、ペソは堅調な値動きが続くものと思われます。インフレ指標やFRBの政策如何では今後も一時的に不安定な値動きとなる局面も想定されますが、ペソは1米ドル = 20ペソを中心としたレンジ内での底堅い推移が続くものと予想しています。

【政策金利と消費者物価】



【メキシコペソ】 (円/メキシコペソ) (メキシコペソ/米ドル)



ここもチェック! 2022年5月16日 メキシコ中銀が4会合連続で0.5%の利上げ 2022年3月25日 メキシコ中銀が0.5%の利上げを決定

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。